

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	こども広場管理事業			
担当部署・課長名	環境	課	緑化推進	係 課長名 宮鍋 和志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4 - 5	-
【施策名】 緑の拠点とネットワークをつくる	総合計画書(ページ)	91	

予算名	款 8 土木費	項 3 都市計画費	目 3 公園費	事業 4 こども広場管理費
-----	---------	-----------	---------	---------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	こども広場 →	18箇所(23,565.85㎡)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	こども広場利用者が安全に利用しやすい状態にする。 →	事故件数
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	維持管理 ・清掃 ・除草 ・便所掃除	(1)市内すべてのこども広場の維持管理 ①便所清掃週2回(シルバーに委託) ②清掃年3回(直営) ③除草年2回(直営) →(2)参考 ①平成29年度から環境課の現業職員が増員になった。 ②このため、清掃/除草は、直営とした。

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	箇所 18箇所(23,566㎡)	18箇所(23,566㎡)	18箇所(23,566㎡)	/	/
	成果指標	②の数値	件 事故0件	事故0件	事故0件	/	/
	目 標	②の目標値	件	/	/	/	/
		目標値設定の考え方	安全で利用しやすい環境の確保が図れるよう、事故件数0件を目標とする。				
活動指標	③の数値		7,158,405円	3,475,796円	3,198,074円	/	/

3 経費	事業費(実績)		円	33,342,689	28,879,031	28,622,315	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	33,342,689	28,879,031	28,622,315	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	1.5	1.5	
		所要人数(再任用)	人	0.5	0.5	0.5	
職員人件費(再任用以外)		円	4,133,500	12,379,500	12,366,000		
職員人件費(再任用)		円	1,911,657	1,510,000	1,509,500		
事業費+人件費		円	39,387,846	42,768,531	42,497,815		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	(1)昭和49年に東大和市遊び場条例制定 (2)こどもの情操を高めるとともに、健康維持の向上及び健全育成を図るため、安全な遊び場を設置することを目的とする。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 (1)住民要望の多様化 (2)広場利用のマナー低下 (3)少子高齢化

仕 事 の 内 容	こども広場管理事業					
担当部署・課長名	環境	課	緑化推進	係	課長名	宮鍋 和志

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	(1) サッカーや野球による近隣住宅への被害 (2) 球技が出来る場所の要望					
6 市民協働	(1) 市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取り組んだ	取組手法	③事業協力（緑のボランティアへの登録及び花植え）			
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）					
(2) 平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点						
市報、ホームページ、公園の看板等を活用したボランティアの募集						
7 課題	(1) 「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容					
	防球ネット設置による近隣住宅への被害減、老朽化した遊具の交換					
	(2) (1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	①苦情があったこども広場へのネット設置。 ②直営によるこども広場施設の修繕					
(3) (2)を踏まえた今後の課題						
①ボール等の苦情がある他の「こども広場」へのネット設置の検討 ②「こども広場」の今後の在り方を踏まえた市全体の配置計画(公園も含めた)の検討 (廃止、面積縮小、他の場所への増設、面積の拡大のための統廃合、移設等) ③直営による維持管理から専門事業者による管理への切り替え						
8 今後の方向性	(1) 仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）					
	(1) 「子どもが十分にボール遊びをできる場所」を確保して欲しいという要望がある一方、「ボール遊びに対する苦情」も多数寄せられている。 現在の「こども広場」は、十分に「ボール遊び」ができる環境は整備できていない一方で、十分にボール遊びが出来る環境を整備するには多額の費用を要する。 このため今後の少子高齢化の更なる進行も変数として考慮しながら、「こども広場」の今後の在り方を踏まえた市全体の配置計画(公園も含めた)を作成し、機能性が高い広場については、十分な設備投資を行い、機能性が低い広場については、廃止や面積の拡大のための統廃合等の土地利用転換を含めた計画を作成していく必要があると考える。					
	(2) 管理については、効率的・効果的な管理を行うため、専門事業者による「包括的管理委託」等の手法を検討する必要があると考える。（公園100カ所+こども広場18カ所=118カ所）					
	計画策定のための人員及び予算の確保					
	(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を向上させる。				経費	仕事の経費は削減する。